GREEN HOUSE

GAUDI

# フルHD対応デジタルビデオカメラ

## 取扱説明書

GHV-DV30FHDK



・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は日本国外では使用できません。
・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行なっておりません。

・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

# 目次

# 安全上のご注意

## 安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただく上で、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

■絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## ⚠ 警告（もし異常が起こったら）

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜き、電源スイッチを切る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社テクニカルサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

●本機を落としたりした場合は、電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜く

●AC アダプタのコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

# ⚠警告

## 電源について

100V以外禁止

●交流１００ボルト（５０/６０Ｈｚ）のコンセントに接続する

交流１００ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。

禁止

●国外で使用しない

本製品を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

●専用ACアダプタの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、専用ACアダプタを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、専用 AC アダプタの刃にほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こす可能性があります。年に数回、定期的に刃のほこりを取り除いてください。

禁止

●専用ACアダプタのコードの上に重いものをのせない

コードが本製品の下敷きにならないようにしてください。また、コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

●専用ACアダプタのコードは

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない

・引っ張ったり、はさんだりしない

・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店または弊社テクニカルサポートに交換をご依頼ください。

# ⚠警告

## 設置について

禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本製品が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

風呂場·シャワー室での使用禁止

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。

水ぬれ禁止

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本製品、及び専用バッテリパックは防水設計されておりません。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

## 使用について

分解禁止

●修理・改造・分解はしない

本製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社テクニカルサポートにご依頼ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で専用ACアダプタを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

禁止

●運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対にしないでください。交通事故の原因になります。

# ⚠警告

## 設置について

●異物を挿入しない

禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本製品や専用 AC アダプタに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

●撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影をしないでください。事故やけがの原因となります。

# ⚠注意

## 設置について

●専用 AC アダプタはコンセントに根元まで確実に差し込む

必ず行う

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、専用 AC アダプタの刃に触れると感電することがあります。

●専用 AC アダプタは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

●専用 AC アダプタを抜く時はコードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ず専用 AC アダプタ本体を持って抜いてください。

●専用 AC アダプタのコードを熱器具に近づけない

禁止

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

# ⚠注意

禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

注意

●移動させる場合は外部の接続コード類を外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

注意

●接続する機器の取扱説明書の指示に従う

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

## 設置について

| | |
|---|---|
| 注意 | ●バッテリや記録メディアなどを取り外すときは手をそえる<br>バッテリや SD/SDHCメモリーカードなどを取り外すときに、飛び出すことがあり、けがの原因になる可能性があります。 |
| 禁止 | ●使用中は本製品を布で覆ったりしない<br>熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となる可能性があります。 |
| 禁止 | ●本製品に乗ったりしない<br>特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。 |
| 禁止 | ●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない<br>本製品から外部出力でテレビなどに出力した際、音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。 |
| | ●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず専用ACアダプタをコンセントから抜く<br>通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、また万一故障したとき、火災の原因となることがあります。 |

# ⚠注意

## バッテリについて

禁止

●指定以外のバッテリは使用しない

バッテリの破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

●極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる

間違えると、バッテリの破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

バッテリを取出す

●長時間使用しない時は、バッテリを取り出す

●バッテリに表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない

電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない

バッテリの破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

## 保守・点検について

注意

●５年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください

内部にほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のために、専用ACアダプタをコンセントから抜き、専用バッテリパックを外してから行ってください

感電の原因となることがあります。

# 末永くお使いいただくために

## 保存場所についてのご注意

●次のような場所での保管は避けてください。

・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所(台所など)

## 上に物をのせない

●本製品の上に物をのせないでください。

## 使わないときは電源を切っておく

●長時間使用しないときは、専用 ACアダプタを抜いて電源を OFFにしてください。

## その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、液晶画面や本製品、専用バッテリパックが多少熱くなりますが故障ではありません。

## 製品のお手入れについて

- ●本製品表面や操作ボタン部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。
- ●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で 5～6倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。
- ●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
- ●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- ●お手入れの際は、専用ACアダプタを外してください。

## 結露について

結露は本製品を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本製品を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本製品を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本製品は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、専用ACアダプタを外した状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源をONにしてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本製品に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は、本製品の設置場所を変えてください。

### 結露はこんなときに起こります

・本製品を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
・夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

### 結露が起きやすい環境での仕様はお控えください。

・結露が起こった状態で本製品をお使いになると、SD/SDHCメモリーカードや部品を傷めることがあります。

## 免責事項について

- ●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

# メディアの対応

本製品で対応しているメディアはSD/SDHCメモリーカードです。

●全ての「SD/SDHCメモリーカード」の動作保証をするものではありません。
●本製品でminiSDカード、microSDカードをご使用される場合は、市販の変換アダプタが必要です。
●MMC(マルチメディアカード)での動作保証はしておりません。
●SD、SDHC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。

## 各メディアのお手入れについて

●各メディアの接点に指紋、ほこりなどのよごれが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
●静電気防止剤などは使用できません。メディアを傷める原因となります。

## 各メディアの保管について

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
●各メディアは必ず専用ケースに入れて保管してください。
●各メディアに付属していている注意書は必ずお読みください。

# 著作権について

●テレビ、インターネット、CDなどから録画・録音したメディアのコンテンツを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず) することは法律により禁じられています。
●デジタルカメラなどで撮影した画像データは個人として楽しむなど以外、著作権上権利者に無断で使用できません。

# 製品構成

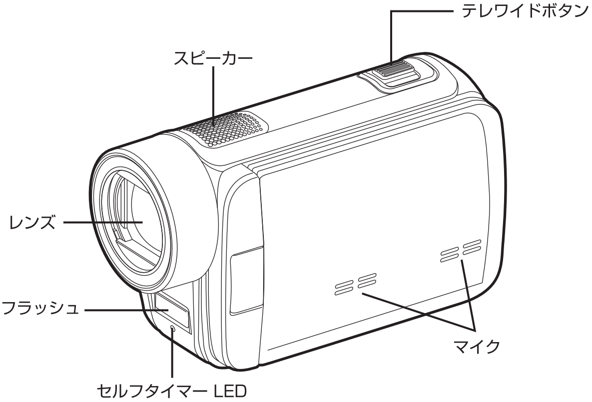
本製品は、次の 13 品目で構成されています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| □GHV-DV30FHDK本体 | 1台 | □CD-ROM（アプリケーションソフト） | 1枚 |
| □専用キャリングケース | 1個 | □専用レンズカバー | 1個 |
| □専用HDMIケーブル(約130cm) | 1本 | □専用レンズカバー用ストラップ | 1個 |
| □専用AVケーブル(約130cm) | 1本 | □取扱説明書(本書) | 1部 |
| □専用USBケーブル(約100cm) | 1本 | □クイックマニュアル | 1部 |
| □専用ACアダプタ(約160cm) | 1個 | □１年間保証書 | 1部 |
| □専用リチウムイオンバッテリ | 1個 | | |

欠品している場合や破損しているものがある場合は、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

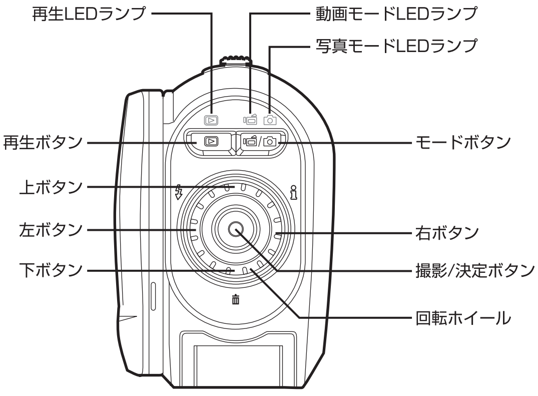
# 各部の名前

## ■前面



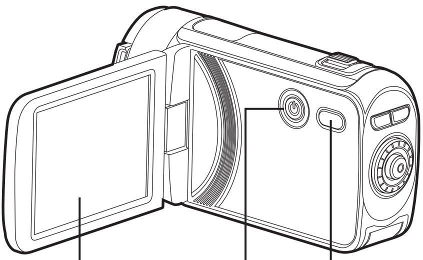
テレワイドボタン
スピーカー
レンズ
フラッシュ
マイク
セルフタイマー LED

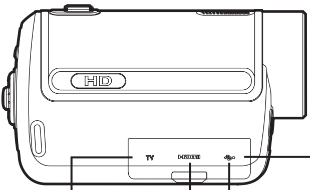

## ■背面



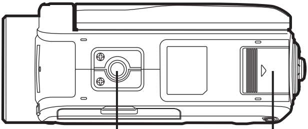
再生LEDランプ
動画モードLEDランプ
写真モードLEDランプ
再生ボタン
モードボタン
上ボタン
左ボタン
右ボタン
下ボタン
撮影/決定ボタン
回転ホイール

## ■側面


液晶タッチパネル
電源ボタン
プリRECボタン


HD
TV
HDMI
端子カバー
映像出力端子
mini HDMI端子
USB mini B端子

## ■底面

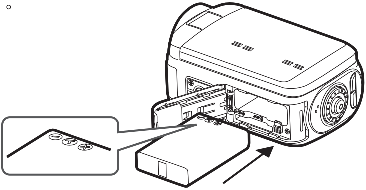

三脚マウント
バッテリ/SDカードカバー

# 準備

## バッテリの取り付け方法

カメラをご使用になる前に、付属品の充電式リチウムイオンバッテリを本体に取り付けます。

1. バッテリ/SDカードカバーを開き、バッテリを極性（＋と−）に合わせて挿入します。
2. バッテリ/SDカードカバーを閉じます。



## バッテリの充電方法

1. 付属品の専用ACアダプタを本体に取り付けます。
   側面外側にある端子カバーを開き、USB mini B端子に専用ACアダプタを接続します。
2. 充電を開始します。

※充電中は動画モードLEDランプが青、写真モードLEDランプが橙で両方点滅し、充電が完了すると消灯します。

※充電時間の目安は約5時間です。

※本製品のACアダプタは専用品です。他の製品で絶対に使用しないでください。

## バッテリの再生時間

動画を録画したときのバッテリ再生時間の目安は下記のようになります。

※撮影環境や設定によって録画時間が変化するため、時間が短くなる場合があります。

| **解像度** | | **録画時間（目安）** |
|---|---|---|
| VGA(4：3) | ： | 約 3 時間 30 分 |
| WVGA60 | ： | 約 3 時間 |
| HD(720p30) | ： | 約 3 時間 |
| FHD(1080p30) | ： | 約 2 時間 30 分 |

## SD/SDHCメモリーカードの挿入/取り外し方法

本製品にSD/SDHCメモリーカードを取り付けることにより、撮影した動画、写真を保存します。

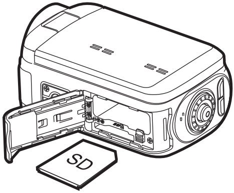
※本製品には128MBのメモリ(一部システムに使用)が内蔵されていますので、SD/SDHCメモリーカードがなくてもそのまま撮影することが可能です。

※以降、SD/SDHCメモリーカードはSDカードと表記します。

| |
|---|
| 本製品の仕様としてSDカードスロットにSDカード挿入時の動画、写真の撮影、再生は内蔵メモリではなくSDカードに対して行われます。<br>本製品内蔵メモリはSDカードスロットにSDカードが未挿入時のみ有効になります。 |

1. 本製品の電源が入っていないことを確認し、バッテリ/SDカードカバーを開きます。
2. 下図のようにSDカードを挿入します。
3. バッテリ/SDカードカバーを閉じます。

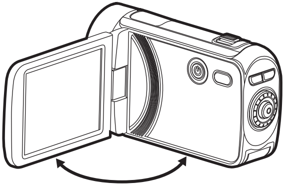
※SDカードを取り外すときは、SDカードを内側に一度押してから取り出します。




## 電源のオン/オフ

液晶タッチパネルを開くと自動的にカメラの電源がオンになり、閉じるとオフになります。

液晶タッチパネルが開いた状態で【電源】ボタンを1秒以上押すと電源のオン/オフができます。

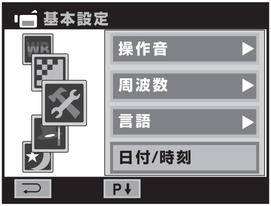


## 日付/時刻の設定

本製品を使用する前に、日付と時刻の設定をしてください。

### 日付 / 時刻の設定手順

1. ビデオカメラの電源がオンの状態で【回転ホイール】を回転させて「基本設定」を選択します。
2. 【上】/【下】ボタンを押して、「日付/時刻」にカーソルを合わせて【撮影/決定】ボタンを押します。




3. 【左】/【右】ボタンで設定したい項目(年/月/日/時/分)を選択し、【上】/【下】ボタンで数値を変更します。
4. 設定が完了したら【撮影/決定】ボタンを押します。

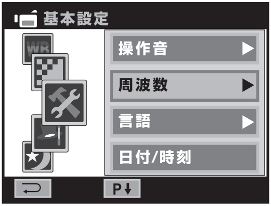


# 周波数の設定

本製品を使用する前に、周波数の設定をしてください。

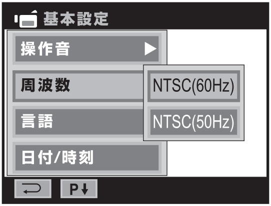
## 周波数の設定手順

1. ビデオカメラの電源がオンの状態で【回転ホイール】を回転させて「基本設定」を選択します。
2. 【上】/【下】ボタンを押して、「周波数」にカーソルを合わせて【右】ボタンを押します。




3. 【上】/【下】ボタンを押して、「NTSC(60Hz)」/「NTSC(50Hz)」を選択し、【撮影/決定】ボタンを押します。

   ※東日本で使用する場合は「NTSC(50Hz)」、西日本で使用する場合は「NTSC(60Hz)」に設定してください。



## モードを選ぶ

電源がオンの状態で【モード】ボタンを押すと「動画モード」/「写真モード」の切り替えができます。

## タッチパネルの使い方

液晶タッチパネルを指で直接タッチして操作することができます。

### タッチする

液晶タッチパネルを軽く押す動作で選択できます。

・各アイコンの中央部をタッチしてください

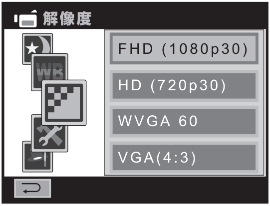
・液晶タッチパネルに触れている状態で、他の箇所をタッチしても動作しません。

例）

撮影モードの画面

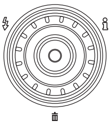



メニューを開いている画面



# 撮影する

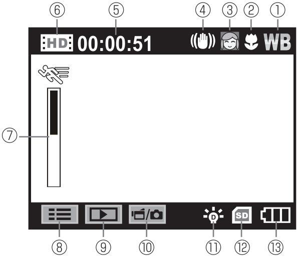
## 撮影モード時の各ボタン機能

| | |
|---|---|
|  | 【回転ホイール】：回転させて、設定メニューのカーソルを移動します。<br>【撮影/決定】ボタン：1. 動画撮影モードのとき、動画撮影を開始/停止します。<br>2. 写真撮影モードのとき、写真を撮影します。<br>【上】ボタン：カーソルを上に移動します。<br>【下】ボタン：1. 現在表示中または全ての動画/画像を削除します。<br>2. カーソルを下に移動します。<br>【左】ボタン：1. フラッシュ自動/赤目軽減/デジタル照明/フラッシュオフを切り替えます。<br>2. カーソルを左に移動します。<br>【右】ボタン：1. 画面情報表示をオン/オフします。<br>2. カーソルを右に移動します。 |
|  | 【テレワイド】ボタン：右に倒すと拡大し、左に倒すと縮小します。 |
|  | 【再生】ボタン：1. 撮影モードと再生モードを切り替えます。<br>2. 1項目前の画面に戻ります。 |
|  | 【モード】ボタン：動画撮影モードと写真撮影モードを切り替えます。 |
|  | 【電源】ボタン：1秒以上押すと電源のオン/オフを切り替えます。 |
|  | 【プリREC】ボタン：このボタンを押して  の表示が画面に表示された状態で、【撮影/決定】ボタンを押すと3秒前からの映像を記録します。<br>※この機能を使用した場合、バッテリの消費が早くなります。 |

# 動画撮影モード

動画の撮影をします。

## 動画撮影モード時の画面情報



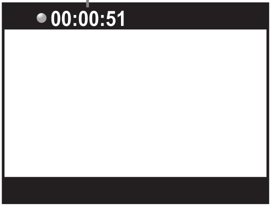

| | | |
|---|---|---|
| ①:ホワイトバランスの表示 | 自動、太陽光、蛍光灯、白熱灯が選択できます。 | 自動:非表示<br>その他: |
| ②:マクロの表示 | 自動、マクロが選択できます。 | 自動:非表示<br>マクロ:表示 |
| ③:撮影モードの表示 | 自動、人物、夜景、逆光、白黒、セピア、ネガが選択できます。 | 自動、白黒、セピア、ネガ:非表示<br>人物: 夜景:<br>逆光: |
| ④:手振れ軽減の表示 | オン、オフが選択できます。 | オン:表示 オフ:非表示 |
| ⑤:撮影できる時間の表示 | 内蔵メモリまたは、SDカードの撮影可能な時間の表示 | |
| ⑥:解像度の表示 | FHD(1080p 30)、HD(720p 30)、WVGA 60、VGA(4:3)が選択できます。 | FHD(1080p 30):<br>HD(720p 30):<br>WVGA 60:<br>VGA(4:3):<br>※スロー撮影がオンのときは が表示されます。 |
| ⑦:モーション検出の表示 | オン、オフが選択できます。 | オン:表示 オフ:非表示 |
| ⑧:タッチボタン(設定メニュー) | タッチすると設定メニューを開きます。 | |
| ⑨:タッチボタン(動画再生モード) | タッチすると動画再生モードに移動します。 | |
| ⑩:タッチボタン(写真撮影モード) | タッチすると写真撮影モードに移動します。 | |
| ⑪:フラッシュモードの表示 | 通常撮影、高感度を選択できます。 | 通常撮影:非表示<br>高感度:表示 |
| ⑫:SDカード表示 | | SDカード未挿入時:非表示<br>挿入時:表示 |
| ⑬:バッテリ残量表示 | バッテリ残量(多): バッテリ残量(中): バッテリ残量(少):<br>バッテリ残量なし: 専用ACアダプタ接続中: | |

※その他の表示:【プリREC】ボタンを押すと画面上部の①～④のいずれかに が表示されます。

## 動画撮影の手順

1. 動画撮影モード時の画面で、【撮影/決定】ボタンを押すと録画開始になり、画面左上に赤い点滅と録画時間が表示されます。
   ※撮影時に【テレワイド】ボタンを押すと拡大/縮小します。

赤い点滅と録画時間

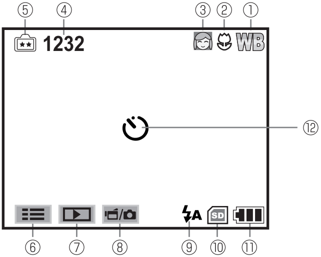



2. 撮影を終了するときは、もう1度【撮影/決定】ボタンを押します。

# 写真撮影モード

写真の撮影をします。

## 写真撮影モード時の画面情報

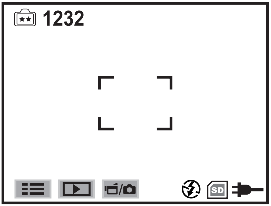



| | | |
|---|---|---|
| ①:ホワイトバランスの表示 | 自動、太陽光、蛍光灯、白熱灯が選択できます。 | 自動:非表示<br>その他:WB |
| ②:マクロの表示 | 自動、マクロが選択できます。 | 自動:非表示<br>マクロ:表示 |
| ③:撮影モードの表示 | 自動、人物、夜景、逆光、白黒、セピア、ネガが選択できます。 | 自動、白黒、セピア、ネガ:非表示<br>人物: 夜景:<br>逆光: |
| ④:撮影可能枚数の表示 | SDカードまたは内蔵メモリの空き容量に撮影できる枚数です。 | |
| ⑤:解像度の表示 | 高(16MP)、標準(10MP)、低(3MP)が選択できます。 | 高(16MP):<br>標準(10MP):<br>低(3MP): |
| ⑥:タッチボタン(設定メニュー) | タッチすると設定メニューを開きます。 | |
| ⑦:タッチボタン(写真再生モード) | タッチすると写真再生モードに移動します。 | |
| ⑧:タッチボタン(動画撮影モード) | タッチすると動画撮影モードに移動します。 | |
| ⑨:フラッシュモードの表示 | 自動、赤目軽減、高感度、オフを選択できます。 | 自動: 赤目軽減:<br>高感度: オフ: |
| ⑩:SDカード表示 | | SDカード未挿入時:非表示<br>挿入時:表示 |
| ⑪:バッテリ残量表示 | 動画撮影モード時の画面情報(P22-⑬)と同様になります。 | |
| ⑫:セルフタイマー表示 | オン、オフが選択できます。 | オフ:非表示<br>オン:表示 |

## 写真撮影の手順

写真撮影モード時の画面で、【撮影/決定】ボタンを押すと下図のように画面中央に四角い枠が表示され、撮影します。

※中央の四角い枠は撮影直前のオートフォーカスでピントが合えば緑に、合わないと赤になります。



# 撮影モード時のその他の機能

## 撮影モード時のフラッシュモードの変更

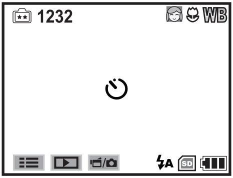
撮影モード時の画面で【左】ボタンを押すと、現在のフラッシュモードを変更します。
※動画撮影モードのときはオフ(非表示)か高感度の2モードのみになります。

| | | |
|---|---|---|
| 自動 | ( ) | :周りの明るさに合わせて自動的にフラッシュを発光します。 |
| 赤目軽減 | ( ) | :赤目効果を軽減するときに使用します。 |
| 高感度 | ( ) | :ダイナミックレンジが拡張され、オブジェクトがはっきりします。 |
| オフ | ( ) | :常にフラッシュをオフにします。 |

※フラッシュは電池残量がバッテリ残量(少)　以下のときは発光しません。

## セルフタイマーの使用方法

1. 写真撮影モードの設定メニューでセルフタイマーをオンに設定すると、セルフタイマーのアイコン　が画面中央に表示されます。
2. 【撮影/決定】ボタンを押すと、画面上のセルフタイマーアイコンと本製品正面にあるセルフタイマーLEDが赤に点滅します。
3. 点滅速度が徐々に速くなり、【撮影/決定】ボタンを押してから約10秒後に撮影されます。




## 画面情報の表示と非表示

撮影画面で【右】ボタンを押すと画面情報アイコンの表示と非表示を切り替えます。

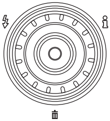
## データの削除

撮影画面で【下】ボタンを押すと右図のような表示がでます。
「はい」を選択すると表示されている動画ファイルが１つ削除され、「すべて」を選択すると保存されている全ての動画ファイルが削除されます。



# 再生する

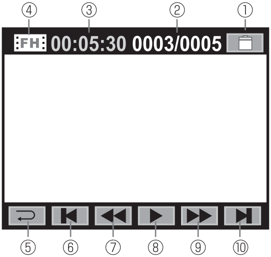
## 再生モード時の各ボタン機能

| | |
|---|---|
|  | 【回転ホイール】 ：回転させて、再生したいファイルを選択します。<br>【撮影/決定】ボタン：1. サムネイル画面では再生したいファイルを決定します。<br>2. 再生中は再生/一時停止します。<br>【上】ボタン ：動画再生中に音量を上げます。<br>【下】ボタン ：1. 現在表示中または全ての動画/画像を削除します。<br>2. 動画再生中は音量を下げます。<br>【左】ボタン ：1. 再生するファイルを選択します。<br>2. 再生中は長押しすると早戻しします。<br>短押しすると1つ前のファイルに移動します。<br>【右】ボタン ：1. 再生するファイルを選択します。<br>2. 再生中は長押しすると早送りします。<br>短押しすると1つ先のファイルに移動します。 |
|  | 【再生】ボタン ：1. 撮影モードと再生モードを切り替えます。<br>2. 1項目前の画面に戻ります。 |
|  | 【モード】ボタン ：動画再生モードと写真再生モードを切り替えます。 |
|  | 【電源】ボタン ：1秒以上押すと電源のオン/オフを切り替えます。 |

# 動画再生モード

動画の再生をします。

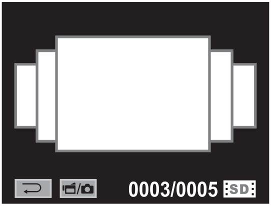
## 動画再生モード時の画面情報




| | |
|---|---|
| ①:タッチボタン(削除) | タッチすると現在表示中または全ての動画ファイルを削除します。 |
| ②:表示動画ファイルナンバーの表示 | 表示ファイルナンバー / 全ファイル数 |
| ③:再生時間の表示 | 現在表示されている動画ファイルの再生時間の表示です。 |
| ④:解像度の表示 | 動画ファイルの解像度の表示です。 |
| ⑤:タッチボタン(戻る) | タッチすると前の画面に戻ります。 |
| ⑥:タッチボタン(スキップ戻る) | タッチすると1つ前のファイルに移動します。 |
| ⑦:タッチボタン(早戻し) | 動画再生中にタッチすると早戻しします。 |
| ⑧:タッチボタン(再生/一時停止) | タッチすると動画ファイルを再生します。<br>再生中に押すと一時停止します。 |
| ⑨:タッチボタン(早送り) | 動画再生中にタッチすると早送りします。 |
| ⑩:タッチボタン(スキップ進む) | タッチすると1つ先のファイルに移動します。 |

## 動画再生の手順

1. 動画撮影モード時の画面で、【再生】ボタンを押すか、画面の をタッチすると動画再生モードのサムネイル表示に移動します。




2. 【回転ホイール】を回転させて再生したい動画が画面中央に表示されたら【撮影/決定】ボタンを押します。
   画面を指でドラッグしてもファイルを選択できます。
3. 選択した動画が全画面表示され、もう1度【撮影/決定】ボタンを押すと、選択した動画を再生します。
   ※全画面表示されたときに【下】ボタンを押すと動画の削除画面に移動します。

## 動画再生中のタッチパネル操作

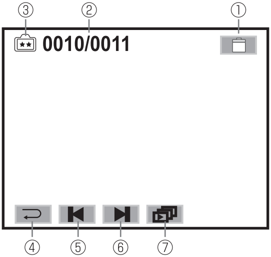
動画再生中のタッチパネル操作は、「動画再生モード時の画面情報」⑤〜⑩（P28）と同様になります。

また、 をタッチして音量を変更できます。

# 写真再生モード

写真の表示、スライドショーをします。

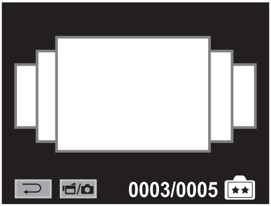
## 写真再生モード時の画面情報




| | |
|---|---|
| ①:タッチボタン(削除) | タッチすると現在表示または全ての写真ファイルを削除します。 |
| ②:表示写真ファイルナンバーの表示 | 表示ファイルナンバー / 全画像ファイル数 |
| ③:解像度の表示 | 画像ファイルの解像度の表示です。 |
| ④:タッチボタン(戻る) | タッチすると前の画面に戻ります。 |
| ⑤:タッチボタン(スキップ戻る) | タッチすると1つ前のファイルに移動します。 |
| ⑥:タッチボタン(スキップ進む) | タッチすると1つ先のファイルに移動します。 |
| ⑦:タッチボタン(スライドショー) | タッチすると写真ファイルをスライドショーします。 |

## 写真再生の手順

1. 写真撮影モード時の画面で、【再生】ボタンを押すか、画面の ▶ をタッチすると写真再生モードのサムネイル表示に移動します。




2. 【回転ホイール】を回転させて全画面表示したい写真が画面中央に表示されたら【撮影/決定】ボタンを押します。
   画面を指でドラッグしてもファイルを選択できます。
3. 選択した写真が全画面表示され、もう1度【撮影/決定】ボタンを押すと、写真をスライドショーします。
   ※全画面表示されたときに【下】ボタンを押すと写真の削除画面に移動します。

# 設定メニュー

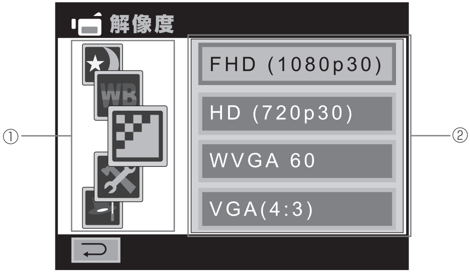
各撮影モード時の詳細設定をします。

## 動画撮影モード時の設定

動画撮影モード時の画面で【回転ホイール】を回転させます。または画面上の をタッチすると設定メニューが表示されます。

下記画面の①部分の設定切り替えは、【回転ホイール】を回転させると切り替わります。

②部分は【上】【下】ボタンで項目を選択します。また、「基本設定」、「特殊効果」の設定は【右】ボタンまたは【撮影/決定】ボタンを押すと設定を変更できます。




### 解像度

解像度の設定をします。

■設定手順

1. 設定メニュー画面で にカーソルを合わせます。
2. 解像度を【上】【下】ボタンで選択し、【撮影/決定】ボタンで決定します。

※詳細は下表のようになります。

| 画面上表示 | 設定メニュー表示 | 解像度 | フレームレート |
|---|---|---|---|
| FH | FHD(1080p30) | 1920×1080 | 30fps |
| HD | HD(720p30) | 1280×720 | 30fps |
| WSD | WVGA 60 | 848×480 | 60fps |
| SD | VGA(4:3) | 640×480 | 30fps |

## ホワイトバランス

ホワイトバランスの設定をします。

■設定手順

1. 設定画面で WB にカーソルを合わせます。
2. ホワイトバランスの項目を【上】【下】ボタンで選択し、【撮影/決定】ボタンで決定します。

※詳細は下表のようになります。

| 画面上表示 | 設定メニュー表示 | 説明 |
|---|---|---|
| 未表示 | 自動 | 自動でホワイトバランスを調整します |
| WB | 太陽光 | 屋外撮影のときに使用します |
| WB | 蛍光灯 | 蛍光灯の照明下で使用します |
| WB | 白熱灯 | 白熱灯の照明下で使用します |

## 撮影モード

撮影モードの設定をします。

■設定手順

1. 設定画面で にカーソルを合わせます。
2. 撮影モードの項目を【上】【下】ボタンで選択し、【撮影/決定】ボタンで決定します。

※詳細は下表のようになります。

| 画面上表示 | 設定メニュー表示 | 説明 |
|---|---|---|
| 未表示 | 自動 | 特殊効果を追加せずに撮影します |
|  | 人物 | 人物を主体で撮影するときに使用します |
|  | 夜景 | 夜間や暗い場所で撮影するときに使用します |
|  | 逆光 | 被写体の後ろに明かりがあり、逆光のときに使用します |
| 未表示 | 白黒 | 撮影動画/画像を白黒に変換します |
| 未表示 | セピア | 撮影動画/画像をセピア色に変換します |
| 未表示 | ネガ | 撮影動画/画像の明暗や色が反転します |

## 特殊効果

特殊効果の設定をします。

■設定手順

1. 設定画面で にカーソルを合わせます。
2. 特殊効果の項目を【上】【下】ボタンで選択し、【右】ボタンを押すとさらに項目が表示されます。
3. 表示された項目を【上】【下】ボタンで選択し、【撮影/決定】ボタンで決定します。

※詳細は下記のようになります。

| 設定メニュー表示 | 自動設定 | 説明 |
|---|---|---|
| 手振軽減 | オン/オフ | オンにすると手振れを軽減します |
| マクロモード | 自動/マクロ | マクロにすると近い被写体を撮影することが可能です |
| モーション検出 | オン/オフ | オンにすると動く被写体を検出して自動的に録画を開始します |
| スロー撮影 | オン/オフ | オンにするとスロー撮影します |

※「手振軽減」は「解像度」がFHD(1080p30)、WVGA 60に設定されているときはオンにできません。
※「スロー撮影」は撮影した動画ファイルが約1/4倍速で記録され、録画時間は約4倍で保存されます。

## 基本設定

基本設定をします。

■設定手順

1. 設定画面で にカーソルを合わせます。
2. 基本設定の項目を【上】【下】ボタンで選択します。
3. 選択した項目で操作音、周波数、言語は【右】ボタンを、日付/時刻、フォーマット、初期化は【撮影/決定】ボタンをそれぞれ押すと、さらに項目が表示されます。
4. 操作音、周波数、言語は【上】【下】ボタンで選択し、フォーマット、初期化は【左】【右】ボタンで選択し、【撮影/決定】ボタンでそれぞれ決定します。

※日付/時刻の設定は「日付/時刻の設定手順」(P18)を参照ください

※詳細は下表のようになります。

| 設定メニュー表示 | 設定 | 説明 |
|---|---|---|
| 操作音 | オン/オフ | オンにするとボタン操作、タッチパネル操作したときに操作音が鳴ります |
| 周波数 | NTSC(60Hz) | 周波数60Hzの地域(西日本)で使用する場合に設定します |
| | NTSC(50Hz) | 周波数50Hzの地域(東日本)で使用する場合に設定します |
| 言語 | 9ヶ国語 | 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、日本語、韓国語が選択できます |
| 日付/時刻 | 年/月/日/時/分 | 「日付/時刻の設定手順」(P18)参照 |
| フォーマット | はい/いいえ | 内蔵メモリまたはSDカードをフォーマットします |
| 初期化 | はい/いいえ | 工場出荷時の設定に戻します |

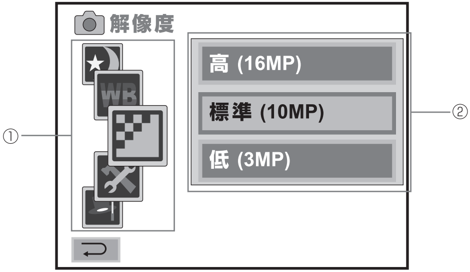
フォーマット中は、カメラの電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。
SDカードや本製品内に保存されたデータを不用意な消去などから守る為、あらかじめパソコン等にデータをバックアップすることをお勧めいたします

# 写真撮影モード時の設定

写真撮影モード時の画面で【回転ホイール】を回転させます。または画面上の をタッチすると設定メニューが表示されます。

下記画面の①部分の設定切り替えは、【回転ホイール】を回転させると切り替わります。

②部分は【上】【下】ボタンで項目を選択します。また、「基本設定」、「特殊効果」の設定は【右】ボタンまたは【撮影/決定】ボタンを押すと設定を変更できます。




## 解像度

解像度の設定をします。

■設定手順

1. 設定メニュー画面で にカーソルを合わせます。
2. 解像度を【上】【下】ボタンで選択し、【撮影/決定】ボタンで決定します。

※詳細は下表のようになります。

| 画面上表示 | 設定メニュー表示 | 解像度 |
|---|---|---|
|  | 高(16MP) | 4608×3456 |
|  | 標準(10MP) | 3664×2748 |
|  | 低(3MP) | 2048×1536 |

## ホワイトバランス

ホワイトバランスの設定をします。

■設定手順

詳細はホワイトバランス(P33)を参照ください。

## 撮影モード

撮影モードの設定をします。

■設定手順

詳細は撮影モード(P33)を参照ください。

## 特殊効果

特殊効果の設定をします。

■設定手順

1. 設定画面で にカーソルを合わせます。
2. 特殊効果の項目を【上】【下】ボタンで選択し、【右】ボタンを押すとさらに項目が表示されます。
3. 表示された項目を【上】【下】ボタンで選択し、【撮影/決定】ボタンで決定します。

※詳細は下表のようになります。

| 設定メニュー表示 | 設定 | 説明 |
|---|---|---|
| セルフタイマー | オン/オフ | オンにするとシャッターを押してから10秒後に撮影します |
| マクロモード | 自動/マクロ | マクロにすると近い被写体を撮影することができます |
| ISO | 自動/800/1600 | 動きのある被写体や暗所などを撮影するときに高い設定にします |

※ISO感度を高くすると画像にノイズが入ります。

## 基本設定

基本設定をします。

■設定手順

詳細は基本設定(P34)を参照ください。

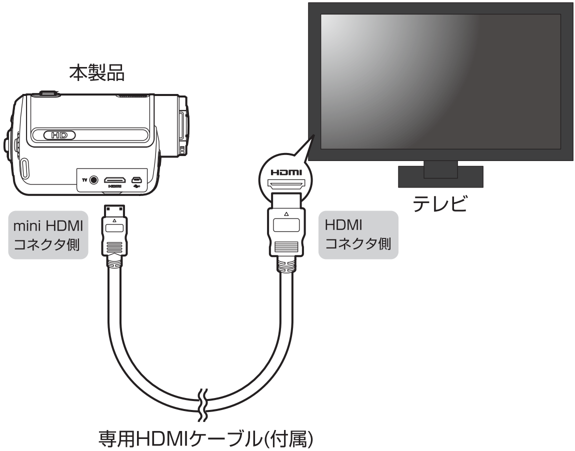
# テレビに出力する

付属品のHDMIケーブルまたは、AVケーブルでテレビに本製品を接続することができます。
テレビに接続することにより、撮影した動画、静止画をテレビでお楽しみいただけます。

> 本製品はHDMIケーブル、AVケーブルを同時接続した場合、映像表示ができません。
> テレビで映像を表示する場合は、どちらかのケーブルのみで行ってください。

## HDMI ケーブルでの表示

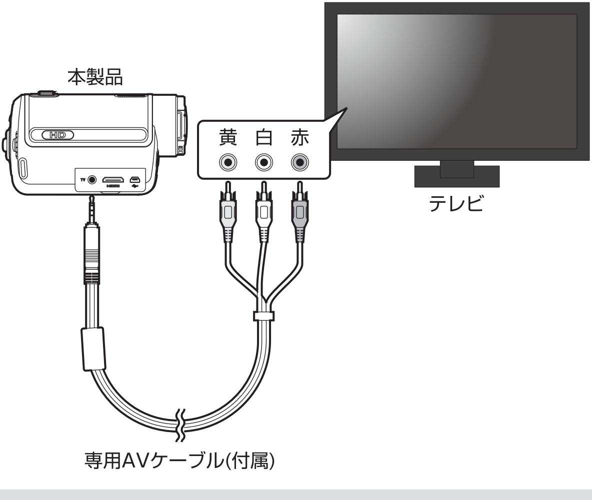
1. 付属の専用HDMIケーブルのmini HDMIコネクタを本製品のmini HDMI端子に接続します。
2. もう片方のHDMIコネクタをTV側に接続します。
3. テレビの電源を入れ、入力設定を「HDMI」に設定します。
4. 本製品の電源を入れます。
5. テレビに映像が表示されます。
6. 動画または写真を再生します。
   ※再生方法は「再生する」(P27～P31)を参照ください。




> HDMI接続時は本製品の液晶タッチパネルには表示されません。
> 手順3の入力設定についてはお使いのテレビにより表記が異なる場合があります。

## AV ケーブルでの表示

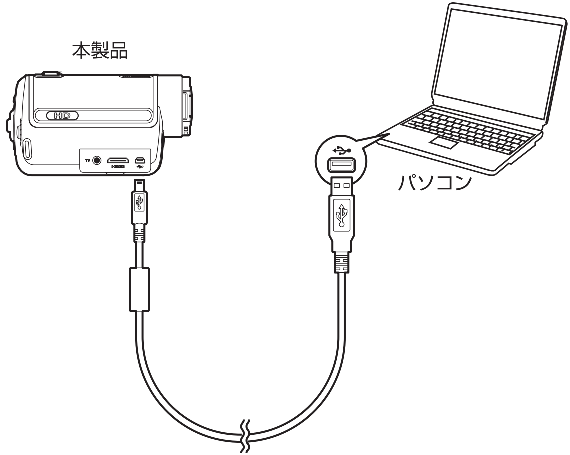
1. 付属の専用AVケーブルの黒いコネクタを本製品の映像出力端子に接続します。
2. 付属の専用AVケーブルの映像入力端子(黄)、音声入力端子(白、赤)をテレビ側に接続します。
3. テレビの電源を入れ、入力設定を「AV」に設定します。
4. 本製品の電源を入れます。
5. テレビに映像が表示されます。
6. 動画または写真を再生します。
   ※再生方法は「再生する」(P27〜P31)を参照ください。




AV接続時は本製品の液晶タッチパネルには表示されません。
手順3の入力設定についてはお使いのテレビにより表記が異なる場合があります。

# パソコンに接続する

付属の専用USBケーブルを使用し、本製品をパソコンに接続します。




## USB マスストレージ

本製品は、USBマスストレージ機能に対応しております。
本製品を接続していると、Windowsエクスプローラに、内蔵メモリ、挿入されているSDカードがマスストレージとして表示されます。データは通常のディスク操作と同様で、ドラッグアンドドロップで転送することができます。

# ソフトウェアのインストール

本製品のソフトウェアのインストール方法を確認します。




1. 付属のCD-ROM（アプリケーションソフト）をPCのCDドライブに挿入します。
2. 上図の画面が表示されます。
3. ArcSoft MediaConverterとArcSoft MediaImpressionのチェックボックスにマウスを左クリックします。
4. 画面の指示にしたがってインストールします。

※すべての付属ソフトウェアについて、弊社ではサポートを行っておりません。
　あらかじめご了承ください。
　ソフトウェアの使用方法はヘルプかArcSoftにお問い合わせください

# 製品仕様

| | |
|---|---|
| 内蔵メモリ | 128MB　※容量の一部はシステムで使用されます。 |
| 記録メディア | SD/SDHCメモリーカード(〜32GB) |
| 液晶モニタ | 3型液晶タッチパネル(320×240ピクセル) |
| 有効画素数 | 写真:約1006万画素　動画:約207万画素 |
| 信号方式 | NTSC(50Hz)/(60Hz) |
| 静止画記録方式 | JPEG(exif) |
| 静止画サイズ | 低:2048×1536　標準:3664×2748　高:4608×3456(画素補間) |
| 動画記録方式 | 動画:H.264(AVI)　音声:AAC(2ch) |
| 動画サイズ | VGA(4:3)　:640×480　(30fps)<br>WVGA60　:848×480　(60fps)<br>HD(720p30)　:1280×720　(30fps)<br>FHD(1080p30)　:1920×1080　(30fps) |
| 撮像素子 | 1/2.3" CMOSイメージセンサー 10MP |
| レンズ | F3.5〜33.8 |
| フォーカス範囲 | 自動:10cm〜無限　マクロ:1cm〜無限 |
| シャッタースピード | 0.0005〜0.5秒 |
| 外形寸法 | W45×D110×H65(mm) |
| 重量 | 約225g(本体のみ) |
| 搭載端子 | 専用AV出力端子×1<br>専用mini HDMI端子×1<br>専用USB mini B端子×1 |
| 動作温度範囲 | 0℃〜40℃ |
| 動作湿度範囲 | 0%〜85% |
| バッテリ持続時間 | VGA(4:3):約3時間30分　WVGA60:3時間<br>HD(720p30):約3時間　FHD(1080p30):約2時間30分 |
| リチウムイオンバッテリ | 3.7V　1700mAh　6.29Wh |
| ACアダプタスペック | 入力:100V 0.5A　出力:5V　2.0A |
| ズーム | FHD(1080p 30)　:1〜5倍(光学×5、デジタル×1)<br>その他のモード　:1〜20倍(光学×5、デジタル×4) |
| 対応OS | Windows 7/Vista/XP(SP2以降/32bit)/2000(SP4) |

| | | |
|---|---|---|
| 製品構成 | GHV-DV30FHDK本体 | :1台 |
| | 専用キャリングケース | :1個 |
| | 専用HDMIケーブル(約130cm) | :1本 |
| | 専用AVケーブル(約130cm) | :1本 |
| | 専用USBケーブル(約100cm) | :1本 |
| | 専用ACアダプタ(約160cm) | :1個 |
| | 専用リチウムイオンバッテリ | :1個 |
| | CD-ROM(アプリケーションソフト) | :1枚 |
| | 専用レンズカバー | :1個 |
| | 専用レンズカバー用ストラップ | :1個 |
| | クイックマニュアル | :1部 |
| | 取扱説明書(本書) | :1部 |
| | 1年間保証書 | :1部 |

## 動作推奨環境

| | |
|---|---|
| OS | Windows7/Vista/XP(SP2以降/32bit)/2000(SP4) |
| CPU | デュアルコアCPU以上 |
| HDD | 700MB以上の空き容量 |
| | ※ソフトウェアインストールに使用 |
| メモリ | 1GB以上 |
| USBポート | 使用可能なUSBポート |

# トラブルシューティング

| | 問題 | 考えられる原因 | 解決方法 |
|---|---|---|---|
| 電源 | カメラの電源が入らない | バッテリが正しく装着されていません | バッテリを正しく装着されているかご確認ください |
| | | バッテリの残量がありません | 付属のACアダプタでバッテリを充電してください |
| | カメラの電源が突然オフになる | バッテリの残量が少なくなっています | 付属のACアダプタでバッテリを充電してください |
| | 充電が完了したのにカメラの電源が入らない | ACアダプタが接続された状態になっています | 電源ボタンを約3秒押して電源を入れてください |
| 撮影 | 撮影モードで【撮影/決定】ボタンを押しても撮影ができない | 撮影可能枚数/時間がいっぱいになっています | SDカードを交換するか、不要なデータを削除してから撮影してください |
| | | バッテリの残量が少なくなっています | 付属のACアダプタでバッテリを充電してください |
| | スタビライザー(手ぶれ軽減)が設定できない | ムービーの解像度が「FHD(1080p30)」になっています | ムービーの解像度を「HD(720p30)」/「WVGA 60」/「VGA(4:3)」に設定してください |
| | 画像のフォーカスが合わない | 被写体がフォーカス範囲から外れています | 被写体との距離が適切ではありません。被写体との距離に合わせて標準またはマクロモードを選択してください |
| その他 | SDカードが使用できない | SDカードが保護されています | SDカードのプロテクトスイッチを解除してください |
| | 「撮影可能枚数/時間」に記載されているとおりの記録ができない | 記録容量が、SDカードに表示している数値より少ない可能性があります | SDカードの仕様または撮影環境によっては、表示されている「撮影可能枚数/時間」どおりの記録ができない場合があります |

# 故障・修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

| | |
|---|---|
| サポート窓口 | グリーンハウス テクニカルサポート |
| ホームページ | http://www.green-house.co.jp/ |
| サポートダイヤル | 03-5421-0580 |
| 受付時間 | 10:00 〜 12:00 ／ 13:00 〜 17:00 （弊社営業日のみ） |
| FAX | 03-5421-2266（24 時間受付） |
| 住所 | 〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル 4 階 |

テクニカルサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願いいたします。
サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。弊社ホームページよりご登録お願いいたします。
ご使用上のご質問、お問い合わせは弊社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願いいたします。(http://www.green-house.co.jp/support/index.html)


◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

GAUDI

GHV-DV30FHDK

GREEN HOUSE 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4F
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0